

宮下公園の変遷と立体都市公園制度を活用した複合施設等の実態に関する研究

Study on actual situation such as the compound facilities which utilized the change of Miyashita Park and a three-dimensional city park system

○渡邊敦紀¹, 小木曾裕²*Atsunori Watanabe¹, Yutaka Kogiso²

Abstract: In this study, we investigated the historical transition from the beginning and investigated the current maintenance status and actual situation using a questionnaire. We captured the fact that redevelopment has been repeated due to the response to dating events such as the Olympics and the growing social awareness of strengthening disaster prevention and crime prevention. In addition, there were many opinions that it was good that it was prepared from the questionnaire, but the user manners were bad.

1. 背景と目的; 宮下公園は1953年に開園された渋谷区の都市公園である。2度の開閉後、2020年7月に公園・駐車場という従来の都市機能に商業施設・ホテルを融合させた新しいミクストユース型プロジェクトで立体都市公園制度を活用し「MIYASHITA PARK」(以下; M PARK)が誕生した^[1]。立体都市公園制度は2004年に都市公園法の改正で創設された制度であり、本公園は日本で3番目にこの制度が活用された公園である。その中でも、商業施設・ホテルが複合されている事例は本公園が初めてである。宮下公園に関する既往研究、窪田^[1]は60年以上ある宮下公園の計画当初から現在までの事業経緯等を捉えていたが、現在のM PARKの整備内容の詳細や実態は明らかにされていない。

そこで本研究では、M PARKの整備内容の詳細や実態を捉えるため、公園の初期からの歴史変遷を調査・分析し、公共用物である公園に必要とされる空間の在り方を、アンケートを活用して、M PARKの現在の実態を明らかにすることを目的とする。

2. 調査方法; 調査概要をTable1に示す。

3. 結果および考察; Figure1は宮下公園が生まれ変わってきた歴史変遷について整理したものである。Figure2はアンケート調査の結果を整理したものである。以降はFigure1,2を中心に考察する。

(1) M PARKの概要; M PARKは、渋谷駅から原宿側に向かって徒歩3分程度、JR山手線と明治通りに挟まれたところに位置する。敷地面積約10,740 m²、高

さ(地上4階)約30m、全長約330mで南北に細長い区立公園である。東と西に南北方向に伸びる大地があり、その間に挟まれた渋谷川の流路や低地の谷戸であったという地形により、この公園の形態が生み出された。

①宮下公園 開園前; 1953年より少し前の状況を調査した。この時期の渋谷駅周辺では関東大震災(1923)に伴う下水道敷設の事業、明治通りの敷設、渋谷駅前広場と街路計画の都市決定などが続き、市街化が進んだ。

②宮下公園 開園; 1953年に宮下公園が開園。山手線と明治通りに挟まれた北街区と、東西方向の道路を挟んで山手線と渋谷川で挟まれた南街区で構成される1.05haの児童公園であった。

③宮下公園 空中庭園完成; 東京オリンピックにより駐車場が不足するとして、一階部に駐車場、二階を屋上公園にする計画が実行、東京初の空中庭園と言われる宮下公園が1996年に完成した。変更点は、南北2街区の地上部に整備された0.84haの都市計画駐車場と2階になった宮下公園から明治通りを渡る高架橋2箇所である。また、バブル崩壊に伴い宮下公園にはテント定住のホームレスが数人いたが^[2]、地元と区は当該地域には相応しくないと考えていたため、その対応の意味も込めて整備事業が行われたという実態を捉えた。

④みやしたこうえん 完成; 児童公園の施設基準が廃止されたことで改変が可能となり、2006年には管理事務所付きフットサルコート場2面がオープンした。しかし、その間様々な反対意見もあり(ホームレス問題など) 膠着状態が続いた。その後、2010年9月区によるフェンス設置、地元町会や商店会からの要望書再度提出を経て、9月の行政代執行、7か月半に及ぶ公園封鎖の後、2011年にリニューアルオープンとなった。

⑤M PARK 開園; 2015年には公募型プロポーザル方式により三井不動産(株)が選定された。様々な事業手続きについて、公園施設に商業施設やホテルが入るこ

Table1 Outline of the survey

(1)文献調査	
調査対象	・宮下公園に関する文献資料(1953年から3回に及ぶ整備が行われた変遷の内容)
調査内容	・宮下公園の歴史・変遷についての資料、渋谷川やホームレス問題についての資料等 ・宮下公園の時代背景からみる今まで行ってきた整備計画の具体的な内容等
(2)アンケート調査	
調査期間	・令和3年8月6日(金)~令和3年8月27日
調査対象	・MIYASHITA PARK内の商業施設全92店舗に郵送でアンケートを送付し、郵送による返送にて得た11件の有効回答を対象
調査項目	・MIYASHITA PARKの整備状況や管理状況について、その他公園に関する調査 ・公園の初期のことや整備に関する調査と、立体都市公園に求める重要な機能など

とや樹齢を重ねた樺が伐採されることへの反対も一部地元から議論があった。宮下公園運動施設管理条例は、渋谷区立都市公園条例に一本化。運動施設の開場時間や営利利用も指定管理者による管理に任せることとなった。背景には、宮下公園が、当初の児童公園から法制度の改変に合わせて法制度上は街区公園となっていたものを、渋谷区みどりの整備方針に記述のある広域利用公園へと位置づけ直す、という計画意図があった。そのため公園の種類としては特殊公園になり、立体都市公園制度を活用し2020年にリニューアルされた。

(2) アンケート結果；アンケートの回答率は11/92件、12%。M PARKが立体都市公園制度を活用されていることを知っている店舗は1つもなく、宮下公園が1953年から存在することを知っているのは2店舗のみであり知られていないことがわかった。現在の整備状況については、「まあ整備されてる」が8件(73%)と最も多く、照明やトイレなどの評価は高かった。一方で利用者のマナーが悪いとの意見が多く、融合感を感じないなどの意見も挙げられた。有すべき重要な機能として「安全な休息や遊び場」が6件と最も多く、管理状況の安全性が-1点であることから利用者のマナーを改めてしっかりと管理を見直さなければならないという実態を捉えた。

4. まとめ；宮下公園は、オリンピック等の国際的イベントへの対応や防災・防犯強化の社会的認識の高まりという背景などから再整備が繰り返されてきたという実態を捉えた。また、アンケートにより新しいプロジェクトで整備された状況に対しての評価は高いが、

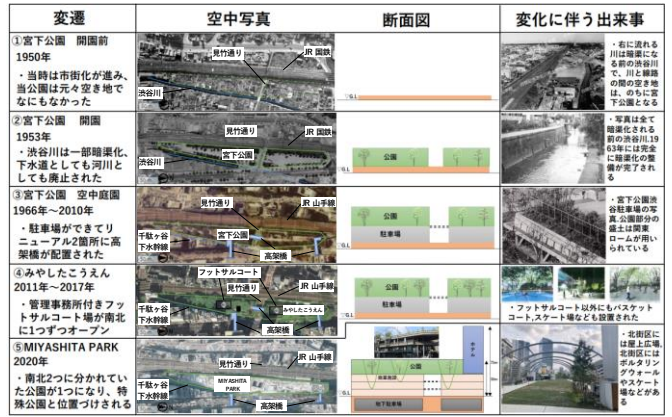


Figure1 Transition of Miyashita Park

一部において利用者マナーが悪い現状を捉えた。

参考文献

[1]窪田亜弥(2021):「都市における『公園』の再考」日本建築学会計画系論文集 第86巻,第781号,p1001-1006/[2]全泓奎ら:ホームレスコミュニティの共生型居住に関する研究-渋谷区宮下公園における当事者参加型調査を中心として-,日本建築学会計画系論文集,第565号,pp183-191,2003/[3]真田純子:東京緑地計画における環状緑地帯の計画作成過程とその位置づけに関する研究 社団法人 日本都市計画学会 第38巻101号 2003/[4]宮下公園「整備計画」よみやま立話 <http://miyashitaseibi.blog71.fc2.com/>(閲覧日:2021.5.9)/[5]渋谷区立宮下公園渋谷区立宮下公園概要 <https://www.seibu-la.co.jp/park/miyashita-park/about/>(閲覧日:2021.5.9)/[6]地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp/>(閲覧日:2021.5.4)/[7]歩く渋谷川入門 <http://www17.plala.or.jp/shibuyariver015/back11.html#ravel%20i>(閲覧日:2021.5.7)/[8]渋谷川の流れが変わる? (渋谷川移設工事) <https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>(閲覧日:2021.5.7)/[9]新宮下公園等整備事業都市計画素案意見交換会平成28年10.6日 <https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>(閲覧日:2021.5.12)/[10]渋谷区地区計画制度渋谷駅東地区渋谷一丁目及び二丁目各内地内 <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>(閲覧日:2021.5.12)/[11]渋谷駅周辺地域都市再生安全確保計画渋谷駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 pp36~37 <https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>(閲覧日:2021.5.12)/[12]白田仁(2020):基礎工.総合土木研究所,Vol148 No7 pp83-86/[13]雨宮ら(2017):週刊金曜日:株式会社金曜日 1146 pp38-39/[14]雨宮ら(2017):週刊金曜日:株式会社金曜日 1150 pp6-7/[15]池田浩士(2010):インパクション:インパクト出版会 176 pp5-15/[16]興水肇(1985):建築空間の緑化手法:彰国社 pp45/[17]下出源七(1976):外部空間のデザインール②:彰国社 pp62-65/[18]孤田正信(2015):宮下公園整備事業提案書 情報公開資料:三井不動産株式会社 pp48/[19]よみやま立話 整備工事竣工 情報公開資料 pp117

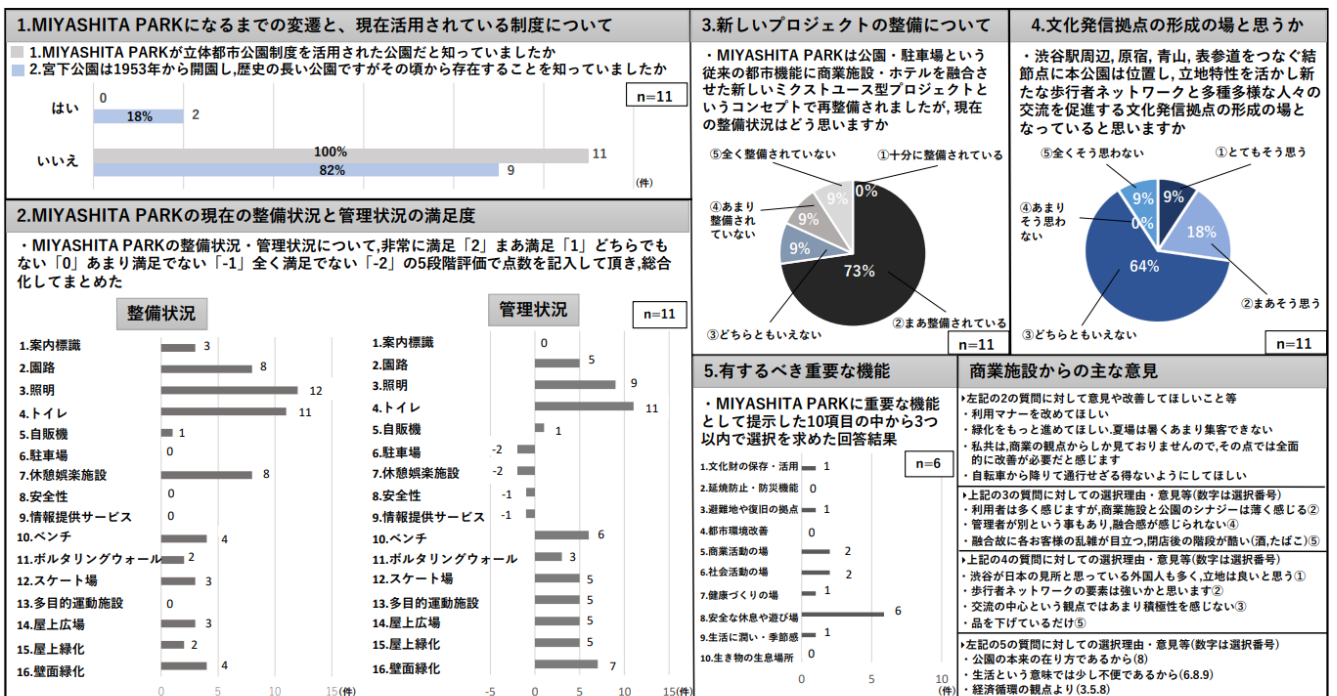


Figure2 Survey results